歓迎のことば

広島紅葉ライオンズクラブ
大会委員長
藤　原　吉　元

広島紅葉ライオンズクラブCN30周年記念大会開催にあたりまして、ご来賓各位をはじめ、松尾敏弘地区ガバナー、地区名誉顧問 および 地区役員の方々　ならびにスポンサークラブ、ブラザークラブの皆様方、ご多用のところ多数ご臨席賜りまして厚く御礼申し上げます。

広島紅葉ライオンズクラブは、1984年（昭和59年）５月27日、日本で2705番目のライオンズクラブとして結成されました。以来30年、地道に着実に、奉仕活動を続けて参りました。青少年の育成事業を柱に、広島県女子サッカー選手権大会の後援、盲導犬支援募金 および 普及啓発活動、広島市北部こども療育センターとの交流等、長年クラブ一体となって、継続して取り組んで参りました。

盲導犬支援におきましては、毎年パレード、募金活動を重ね、今般ようやく盲導犬１頭をユーザーに貸与できる運びとなりました。こうして一つ一つの奉仕の積み重ねが小さくも実を結び、また新たに地域社会に種を蒔く働きとなりますことを、ライオンズとして何より誇らしく感謝する次第でございます。

また、本年８月には「平成26年８月豪雨」により「広島土砂災害」が発生し、多くの方々が犠牲となられました。 その甚大な被害を前に、会員ひとりひとり「今、何をすべきか。我がクラブに何が求められるか。広島紅葉ライオンズクラブだからこそ、何ができるか」と真剣に向き合い、心を寄せ合いました。 ライオンズとして原点に立返ることを求められたように感じます。

本大会では、『 信じる道、気持ち新たに前進を 』をスローガンに掲げました。これはメンバー全員の気持ちの結集であり、広島紅葉ライオンズクラブ30年の活動の集大成です。ライオンズとして、常にそれぞれがその在り方を問い、クラブとしての行く先を見据え、繋がる道を信じて、これからも新たに進んで参りたいと願います。

30年の歩みの中で、ライオンズクラブ会員の皆様には、たくさんの「出会い」「ご縁」をいただきました。皆様との「出会い」と「ご縁」の輪に支えられ、本日、この日を迎えられましたこと、深く感謝申し上げます。誠に有り難うございました。

これからも、広島紅葉ライオンズクラブは『信じる道』を大切に、「We Serve」に努めて参りたいと存じます。どうか今後とも変わりませず、ご指導賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、本日ご参会くださいました皆様方のご健勝と各クラブの益々のご発展を心からお祈りし、歓迎、お礼の言葉とさせていただきます。